

非金属・金属、屋根壁・防水用：下地材

アドパワーエポ

系統 2液反応硬化型エポキシ樹脂



*硬化剤4L缶別塗有

塗装条件

塗装方法	はけ・ウールローラー・エアレス
希釈率	塗料用シンナー 0～10%
標準塗布量 (kg/m ² /回)	0.14～0.17 kg/m ² /回

注) 上記の数値は塗装作業に必要な使用量の標準数値です。
標準塗布量は、個々の条件によって異なります。

塗装間隔

項目 \ 温度		23℃
標準塗布間隔	最短	4時間
	最長	7日間

塗料性状

	項 目	内 容
1	荷 姿	16kgセット (主材14.4/硬化剤1.6)
2	混 合 比	2液 (主材:9/硬化剤:1) (塗料用シンナー 0～10%)
3	色	白色
4	つ や	—
5	臭 い	溶剤臭
6	仕 上 が り 感	平滑
7	比 重 / 密 度	主材 1.27 (g/cm ³ /23℃) 硬化剤 0.96 (g/cm ³ /23℃)
8	溶 剤 比 重	—
9	加熱残分(固形分)	63±2 (%)
10	粘 度	1,150±50 (mPa・s/23℃)
11	劇 物 表 示	—
12	労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	非結晶性シリカA, ベンガラ, 酸化チタン(IV), カーボンブラック, 石油ナフサG, キシレン, 1,3,5-トリメチルベンゼン, 1,2,4-トリメチルベンゼン, エタノール
13	使 用 有 機 溶 剤 種 別	第三種有機溶剤等
14	消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	第4類 引火性液体第2石油類 危険等級 III
15	硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	第三種有機溶剤等

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

特徴

- ① 抜群の防錆力をもつ2液弱溶剤形変性エポキシ系下塗材です。
- ② 優れた作業性、幅広い下地適性を有する万能なさび止め塗料です。
- ③ 乾燥性に優れ、温度条件等によりその日のうちに次工程が施工可能です。
- ④ 強溶剤のような強い臭気はありません。トルエン、鉛化合物などの有害物質を配合しない、人・環境に優しい設計です。
- ⑤ 亜鉛めっき、アルミニウムやコンクリート、各種旧塗膜への付着性に優れ、はけ・ローラーの作業性が良好で手離れ良く工期の短縮になります。

主な適用素材

鉄、亜鉛めっき、アルミニウム、ステンレス、コンクリート、押出形成板等
(どぶ漬け溶解亜鉛メッキ鋼材、塩化ビニル被覆鋼板は不適)

適用旧塗膜

各種旧塗膜

注) 既存塗膜が2液溶剤系ふっ素樹脂塗料、シリコン樹脂塗料の場合は施工できません。

使用上の注意事項

- 1) 油脂類をシンナーで拭き取り、汚れ・塵埃などの汚染付着物を除去清掃してください。(ブラシ・エアブロー・高圧水洗など)
- 2) 錆や黒皮がある場合は、電動工具・手工具で入念に除去してください。
- 3) 素地は十分に乾燥させ、事前に既存塗膜の溶解やリフティングが発生しないことを確認してください。
- 4) 水切り部などで、上下の板が塗料で付着している箇所は、漏水の原因となるため、皮スキなどで縁切りしてください。(塗膜を傷めないように注意)
- 5) 気温5℃以下、湿度85%以上及び結露が懸念されるような場合は、塗装を避けてください。
- 6) 強風時や降雨、降雪のおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- 7) 溶剤系の製品を取り扱う場合には特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 8) 材料は直射日光下および0℃以下での保管は避けてください。施工時は十分な換気を行ってください。
- 9) 作業を行う場合には、適切な保護マスク、保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用下さい。
- 10) その他塗料の取扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

※本製品説明書の内容には、予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。